

養殖用種苗供給事業

勝俣亜生・仲村和美*

1 目的及び内容

魚類養殖を希望する漁協に対し、ある程度の生残率を確保できる大きさの種苗を供給する。今年度は、ハマフエフキを伊江島、石川、糸満及び知念漁協に配布した。

2 材料と方法

受け入れた種苗は表1のとおりである。

表1 受け入れ種苗

日 時	数 量	大 き さ	種 苗 生 産 機 関
1989. 7.20	12,000	18mm	沖縄水産高校
1989. 8.12	23,000	22.4mm	沖縄県栽培漁業センター

150トンコンクリート水槽2面を使用し、マダイ、ヒラメ及びニジマス用の配合飼料を投与した。換水率はほぼ2/3回転/日であった。

3 配布結果

表2のとおり4漁協に有償(1尾20円)で配布した。

表2 種苗配布結果

日 時	配 布 先	数 量 (尾)	尾 又 長 (体 重)
1989. 9. 7	知念漁協	4,822	67.4mm
9.21	伊江漁協	8,540	60mm
10.11	石川漁協	7,890	80.9mm(10.5g)
11.29	糸満漁協	5,069	—(22.4g)
合 計		26,321	

知念漁協に配布したものは水産高校で生産したものであるが、奇形が多かったため選別後輸送した。奇形率は50%を越えていた。

その他のものは栽培センターからのもので、生残数21,500尾で生残率は93.5%であった。

* 非常勤職員